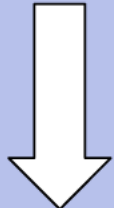


# 住民意見聴取の試行の案

---

## 行政施策における住民意見反映の一般的方法

位置づけ	タイプ	手 法	具体例
間接民主主義的	行政主導型	行政が、社会的意義、費用対効果等を判断し執行	
	有識者意見聴取型	専門家・有識者による審議、専門家・有識者から意見聴取	従来 of 審議会
	ディスクローシャ型	情報公開し、住民よりの意見を求める	淀川水系流域委員会 
	対話型	住民と議論し、そのやり取りを、政策決定に反映する	
直接民主主義的	住民投票型	自治体の条例等に基づき、住民に賛否を求める（政策決定を事実上左右するケースが多い）	原発の住民投票（新潟県巻町）
	古代ギリシャ型	すべての住民が、公の議論に参加し、多数決で決する。	

# 淀川水系流域委員会の目的と特徴

---

## 淀川流域委員会の目的

- ◆ 「河川整備計画についての意見を述べる」
- ◆ 「関係住民の意見の反映方法について意見を述べる」

(流域委員会規約第2条)

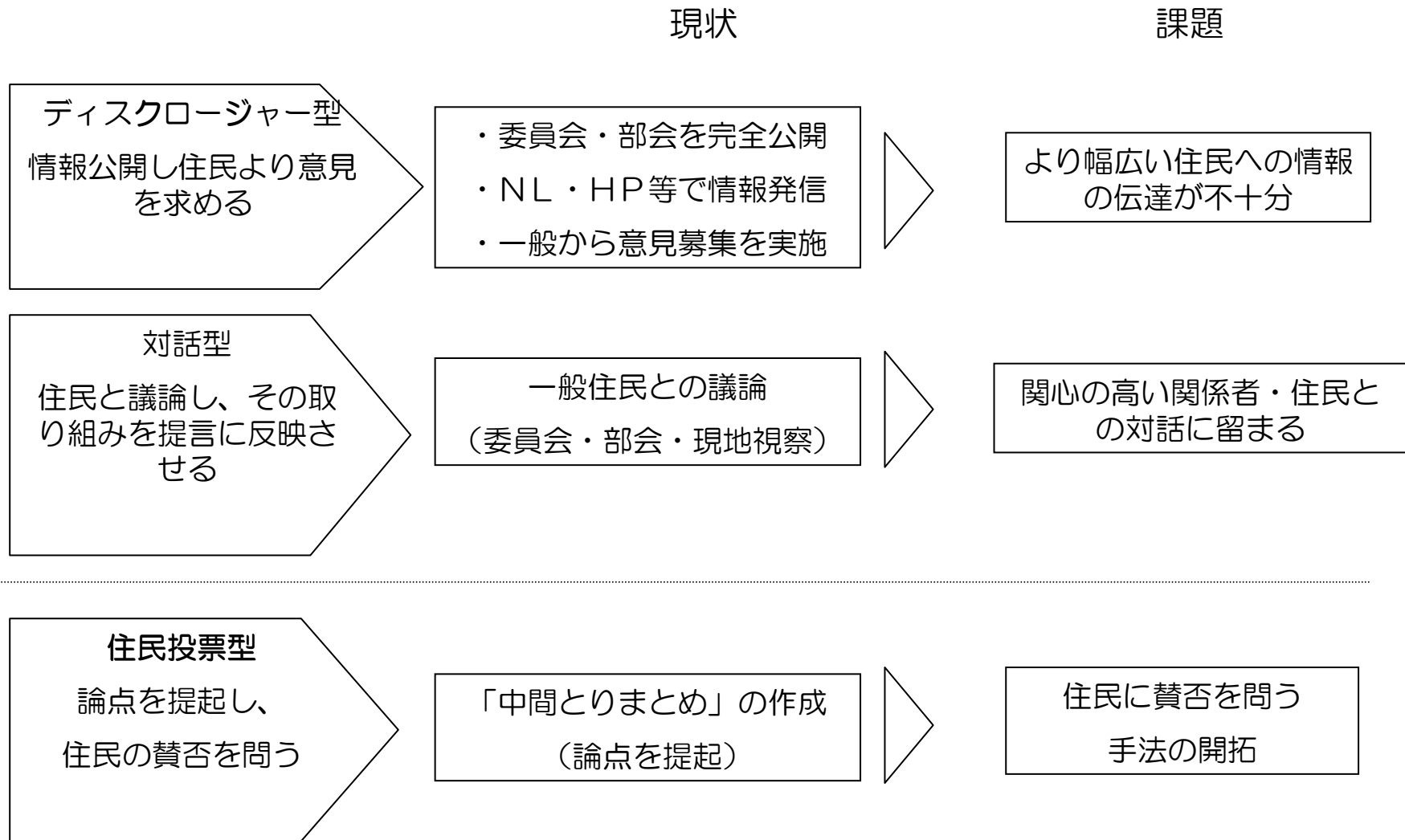
## 淀川流域委員会の特徴

淀川水系流域委員会の運営は、従来の審議会等と異なる方法で進められており、整備計画策定までの一連の流れが、今後の公共事業の計画づくりのモデルになることが期待される。

- 審議の透明性を高めている。
- 委員により自主的に運営している。
- 委員選出は、新聞等で一般から公募を実施した。
- 幅広い意見の聴取を行う。

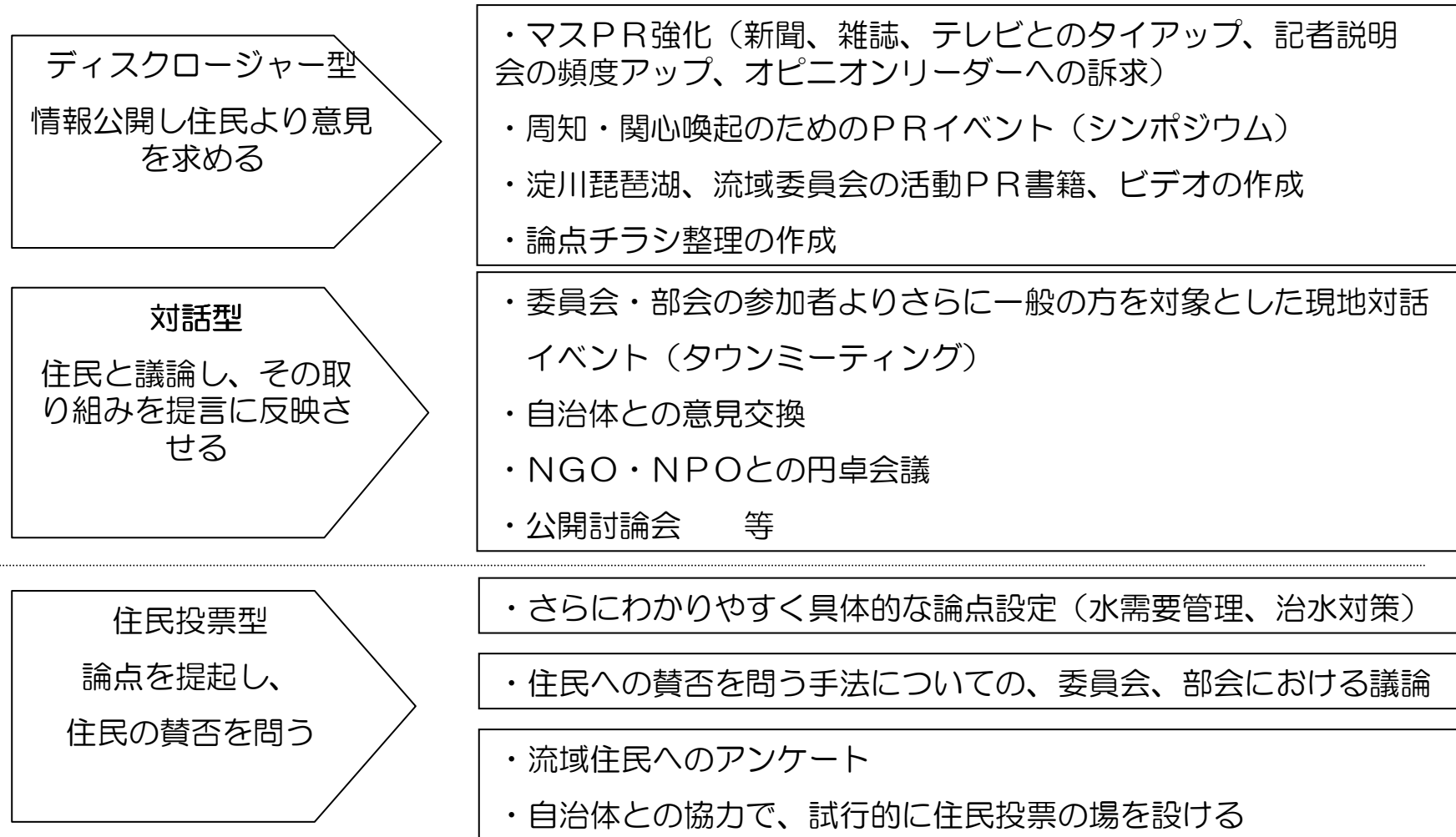
(流域委員会中間とりまとめ)

# 関係住民の意見反映について ～現状と課題～



# 関係住民の意見反映について ～試行案～

## 淀川流域委員会としての関係住民の意見の反映方法についての試行案 試行案



## 現地対話イベントの例

---

### ◆ 目的

- 中間とりまとめの論点の深化、関係住民からの意見の汲み上げ、住民の本音を汲み取る方法の検討

### ◆ 実施の必要性

- これまでの意見を聴く会は、①会場での開催、②自発的に会場に足を運んでもらう、③意見をもらうだけ、であった。中間とりまとめという委員会としての意見を持った今、①委員会の方から現地に出向く、②論点に関わる関係者(住民、企業、自治体等)の中に入ってゆく、③双方向の対話をする必要がある。

### ◆ 実施概要

#### ■ 方針

単に一方に伝達するのではなく、これまでに委員会・部会に参加したり意見を応募しなかったような「サイレントマジョリティ」(ごく普通の意識を持った流域生活者。若者、子供を含む)が参加することで親しみと関心が持てるような、楽しい現地開催イベントにする。

#### ■ 実施場所

河川公園等のオープンな場所(例:三川合流地点、鶯殿の葭原等)で実施。

#### ■ ゲスト

沿川の住民／関係する下流域の人／河川利用者、論点の賛成者／反対者

#### ■ 実施時期

7月～

### ①自治体ヒアリング

- ・流域自治体に呼びかけ、意見聴取の会を実施する。(1月26日に実施したものと同様な形での開催を想定)
- ・流域自治体に10カ所程度集まってもらい、意見交換を行う
- ・事前に中間とりまとめを配布し、それに対する意見を中心に述べてもらい、その後、委員と意見交換

### ②流域自治体アンケート

- ・流域自治体(水供給地域を含む)に、「中間とりまとめ」を送付し、それに関するアンケートを同時に配布
- ・主要な論点については、賛成／反対等の意見集約を行う。
- ・同様のアンケートを流域住民にも配布し、比較することも考えられる。

### ① NGO・NPOとの円卓会議

- ・流域に関連するNGO・NPOに呼びかけ、今後の川づくりに重要な役割を果たすNGO・NPOと協働体制を作り出す。
- ・例えば、「河川レンジャー」「流域センター」の具体化に向けて、流域内のNGO・NPOの役割、機能等を検討し、中間とりまとめの具体化に役立てる。

### ② 公開討論会

- ・個別の課題(ダム問題、狭窄部の開削等)や主要な論点(治水対策と土地利用、個人の自己責任のあり方等)について、公開の場で、関係者を交えた討論会を開催
- ・主要な利害関係者、賛成／反対論者を集めて部会委員は中立の立場で議論を誘導する。